

子どもたちからの「えっ！」大人の「おお！」

202502

<中学生編>

arrest? arrested?

中学生が漢字テストのために漢字ドリルをやっていました。出てきた漢字で英語になるものは英語に言い替えても言っていました。「逮捕するは、arrest」と言うと、「arrested では?」と言う生徒もいて、予期せず受動態の学習にも繋がっていました。

What is called this flower? となるかな?

この文構造について、「この花はなんて呼ばれるの?」の意味で What is called this flower? と書いたとある中 3 が言いました。どうしてかというと、is called をひとまとまりと考えて what の後、主語の this flower の前に置いたのだということでした。called は元の位置に置いておき、is だけ前に置く倒置になることに混乱していました。

<小学生編>

Happy Birthday の歌を日本語で歌いたい!

my favorite place の学習で、nurse's office が出てきました。nurse の発音練習で、purple, Thursday, first, girl, birthday が出てきたので、「お誕生日の人にはこの発音で Happy Birthday を歌おうね」と言うと、「日本語で歌いたい」と言い出しました。「英語で歌うと暗くなる」という理由でした。日本語と英語の音の違いをこれからどのように捉えていくのか、楽しみになるやり取りでした。

「ページ探し」での「おお！」

出題者がページを選び、そのページに何が描かれているかを伝えて、聞いている人はどのページのことかを当てる活動があります。

指導者ばかりでなく、聞いていた小学 1 年生の Y が出題したいと、I can see

Can you see ...? とページにあるものを言い出しました。知っている語彙を使い出題していくのですが、驚いたことに、bookshelf, stuff animal という語彙を、尋ねるまでもなく使っていました。Y の語彙力に Whoa!

Y: I can see bookshelf.

R: You can see a bookshelf?

Y: Yes! I can see a bookshelf.

Y: I can see a stuff animal.

R: Can you see a stuffed animal?

Y: Stuffed animal!

と、やり取りを通して、自分が言った表現と指導者が言った音(弱音 a や ed)の違いに気付いていきました。また、

Y: I can see mouse.

R: One mouse? Can you see a mouse?

Y: No! Four. I can see four mouse.

R: You can see four mice.

Y: Four mice.

というやり取りを通して、mice という複数形が児童に理解できた様子でした。

ABC カードでことば作り

アルファベットの大文字を使って、NHK、JR などのことばを作ってみようという活動で、始めは思いつかないと言っていた 4 年生が組み合わせて作ったのは、POKECA でした。CA の部分では K か C かと迷っていました。1 年生は、FRENDA を作って見せてくれました。本当は FREINDA ですが、音を頼りに作ったので、I が抜けたのでしょう。なるほど、子どもたちの間でポケモンカードは大人気です。思いつくものに、年の差が出ました。Oh my!